

企業名： 住友林業

レポート名： 統合報告書 2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

住友林業の目指しているものは、林業を完全に持続可能なものにし、それを維持し続けることである。住友林業は、日本だけでなく、さまざまな国での森林維持活動を実施しており、また、5つの重要課題の一つ目として持続可能性と生物多様性に配慮した、木材・資材調達を継続を上げている。これらのことから、林業という分野から、持続可能な世界と生活を実現しようとしていると考えられる。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

住友林業の競争優位性は、木材建材事業や住宅建築事業といった林業と直接関係のあるセグメントだけでなく、資源環境事業や生活サービス事業のような、林業とのかかわりが間接的なセグメントまで、幅広く手掛けることによるシナジー効果から生まれるものであると考えられる。木材建材から住宅、さらには生活サービスまでを1つのグループの異なるセグメントで提供することで、異なるセグメント間が有機的かつ効果的に結びつき、互いに良い影響を与えることができている。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

このような競争優位性には持続性があると考えられる。なぜなら、住友林業は1.で述べたように、持続可能な経営や計画を行うことを重要視しているためである。今後もこのように、林業という1つの軸から派生した多角的な経営による良い影響を活かすことができると考えられる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

できると考えられる。なぜなら、住友林業は多様な人材の活躍を目指しており、学歴や性別、人種にかかわらず幅広い人材と触れ合うことができるからである。また、海外での活動も活発なため、日本にとどまらない幅広い知見を得ることができるからである。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

この統合報告書は、文字だけでなくグラフや表などをふんだんに使い見やすいように工夫がなされていた。また、持続可能な林業を目指しているという姿勢も各所から見受けられた。しかし、私は、この住友林業の強みは木材建材事業や住宅建築事業といった林業と直接関係のあるセグメントだけでなく、資源環境事業や生活サービス事業のような、林業とのかかわりが間接的なセグメントまで、幅広く手掛けることによるシナジー効果によるものであると考えているため、そのことをもう少し強調するとよいのではないかと思った。